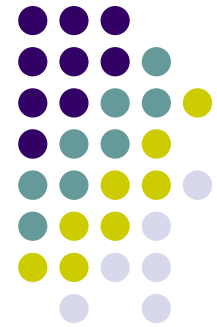


# エビデンスに基づく実践モデルの構築 と制度・政策化へのアプローチ(その1) ～アメリカ連邦政府SAMHSAの NREPPからの示唆～

2018.6.30

日本社会事業大学 大島 巖



## 実践モデルの成長・発展

- 【保健・福祉領域の】実践プログラムは、より効果的なもの(効果モデル)へと成長・発展する
  - ✦効果性から(エビデンスレベル、エフェクトサイズ)
  - ✦実施・普及面から(実施・普及程度、制度・施策化の有無等)
- エビデンスに基づく実践モデル(EBP実践モデル)は、その効果性の側面から、成長・発展を遂げた一つの形態
- 実践モデルの成長・発展を支援するプログラム評価(形成的評価)の方法論の重要性
- 実践プログラムの効果モデルが効果性を高め、EBPプログラムとなり、実施・普及を進めるためのアプローチ法は?

# 実践プログラムの分類

《効果性、エビデンスレベルから》

- エビデンスに基づく実践(Evidence-Based Practices; EBP)プログラム
  - ✦ 十分な科学的根拠があるプログラム
- ベスト・プラクティス(Best Practices)プログラム
  - ✦ EBPほど十分な科学的な根拠はないが、実践的裏付けがある
- エクスパート・コンセンサス(Expert Consensus)プログラム
  - ✦ 専門領域の多くのエクスパートが推奨をする
- 根拠が明らかではないプログラム
  - ✦ 実践の中で有効性の裏付けが徐々に得られつつあるもの
  - ✦ 有効性の裏付けがないもの

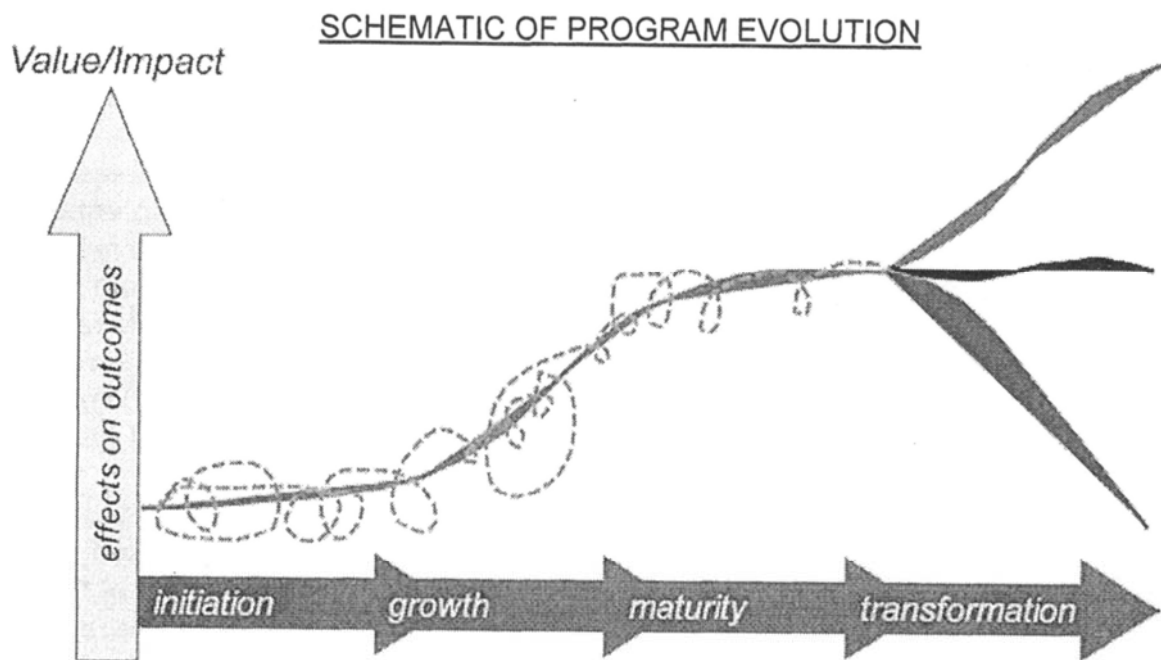


Figure 5

“State of the Program”

(Urban et al, 2011)

## 実践プログラムが効果性を高め、その実施・普及を進めるためのアプローチ法は？

### ■ プログラム評価（形成的評価）

- ✦ プログラム理論評価：ブラックボックス評価からの脱却
- ✦ 効果的援助要素（critical components）、フィデリティ評価尺度の構築、検証

### ■ 実践家参画型エンパワメント評価

- ✦ 実践家参画型のボトムアップ評価、協働して作り上げる
- ✦ 「効果モデル」の見える化、改善のインプットを可能に

### ■ WWデータベース：効果的実践モデルの社会での共有化

- ✦ 「効果モデル」見える化による共有、創意工夫インプット
- ✦ 実施・普及モデル、そのアプローチ法の提示
- ✦ ⇒⇒US連邦政府SAMHSAのNREPP(National Registry of Evidence-Based Programs and Practices)のユニークな特徴

## 実践プログラムが効果性を高め、その実施・普及を進めるためのアプローチ法は？

### ■ プログラム評価（形成的評価）

- ✦ プログラム理論評価：ブラックボックス評価からの脱却
- ✦ 効果的援助要素（critical components）、フィデリティ評価尺度の構築、検証

### ■ 実践家参画型エンパワメント評価

- ✦ 実践家参画型のボトムアップ評価、協働して作り上げる
- ✦ 「効果モデル」の見える化、改善のインプットを可能に

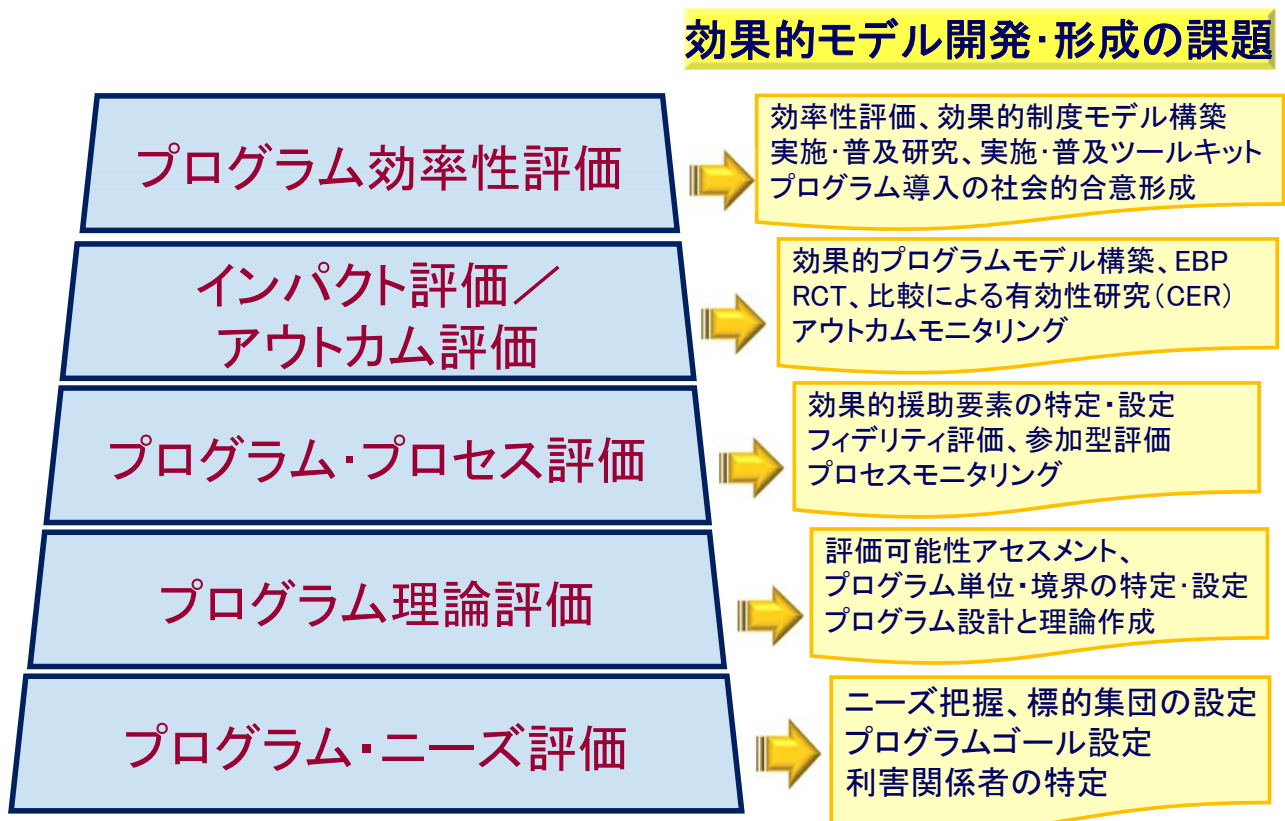
### ■ 効果的実践モデルの社会での共有化

- ✦ 「効果モデル」見える化による共有、創意工夫インプット
- ✦ 実施・普及モデル、そのアプローチ法の提示
- ✦ ⇒⇒US連邦政府SAMHSAのNREPP(National Registry of Evidence-Based Programs and Practices)のユニークな特徴

# プログラム評価とは



- ある社会的な問題状況を改善するために導入された社会的介入プログラム(社会プログラム)の有効性を、
  - ①ニーズへの適合性(ニーズ評価)、②プログラムの設計や概念の妥当性(プログラム理論評価)、③介入プロセスの適切性(プロセス評価)、④プログラムの効果(アウトカム評価・インパクト評価)と、⑤効率性(効率性評価)という諸側面から、
- 総合的・体系的に査定・検討し、その改善を援助して社会システムの中に位置づけるための方法 (Rossiら、2004)
- 対人サービス研究における主要な実践研究方法であるとともに、それ自体が有力な社会的実践活動である



評価階層と効果的プログラムモデル開発・形成

# 実践モデルのプログラム評価において 特に重要な形成評価アプローチ

- 【効果的プログラムモデル開発評価】 新規の効果的プログラムの開発、既存プログラムを効果的プログラムに再構築
- 【効果的プログラムモデルの継続的改善・形成評価】 効果的なプログラムモデルに発展させるための形成評価、プログラム改良のための効果評価アプローチ
- 【効果的モデルの実施・普及評価】 効果的(EBP)プログラムモデルの実施・普及アプローチ

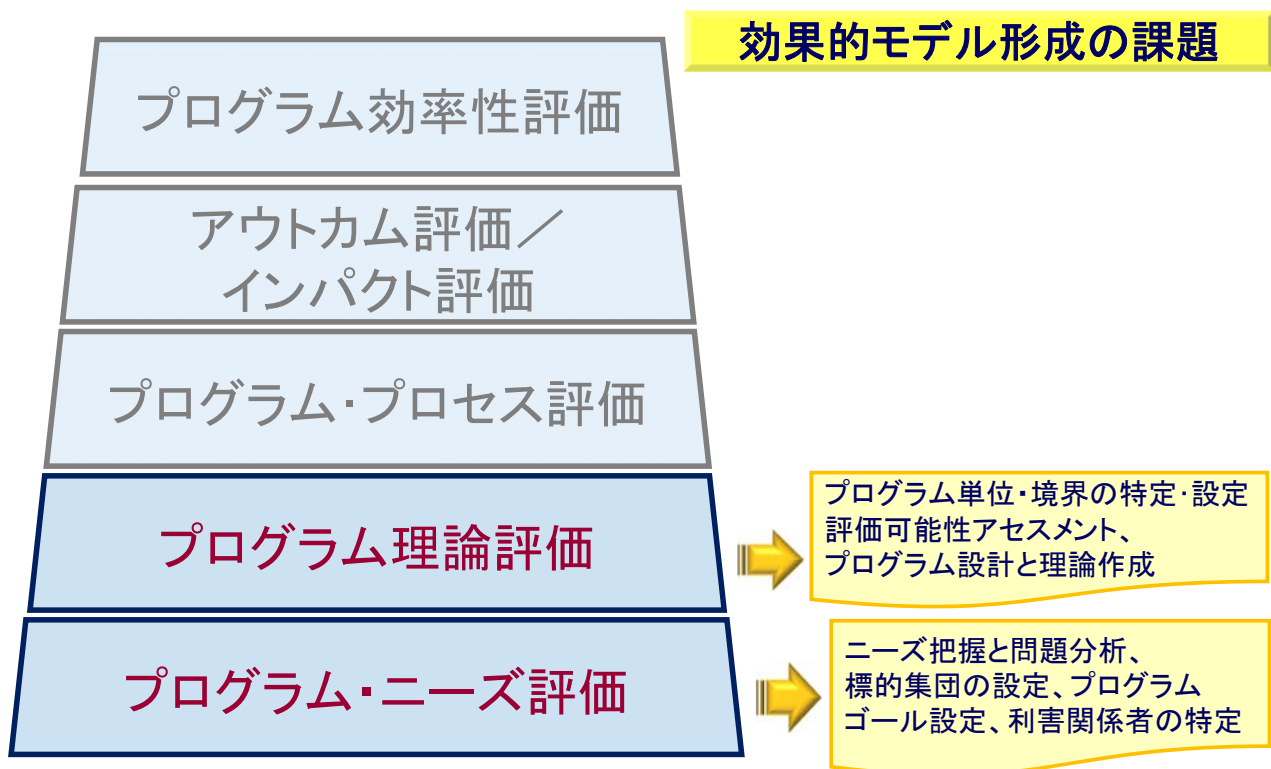


図7-2 効果モデル開発・設計評価と評価階層

## 効果的モデル開発・形成の課題

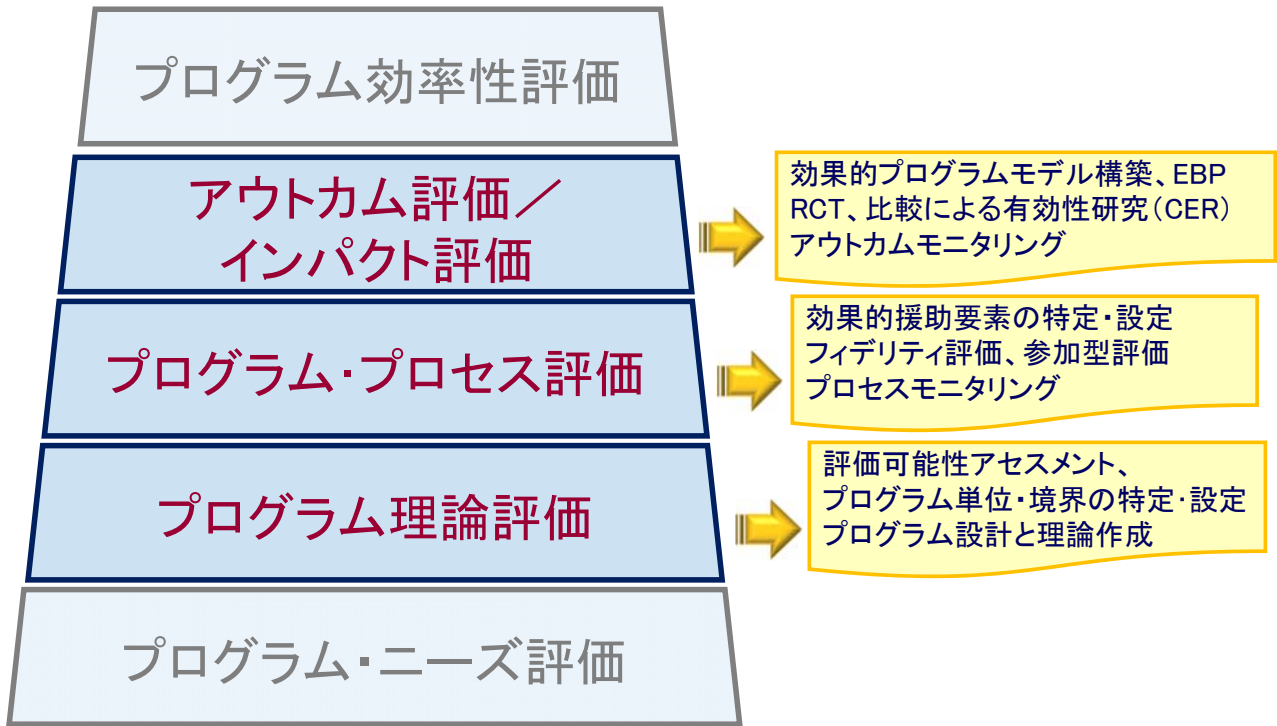


図7-3 効果モデル形成・改善評価と評価階層

## 効果的モデル開発・形成の課題

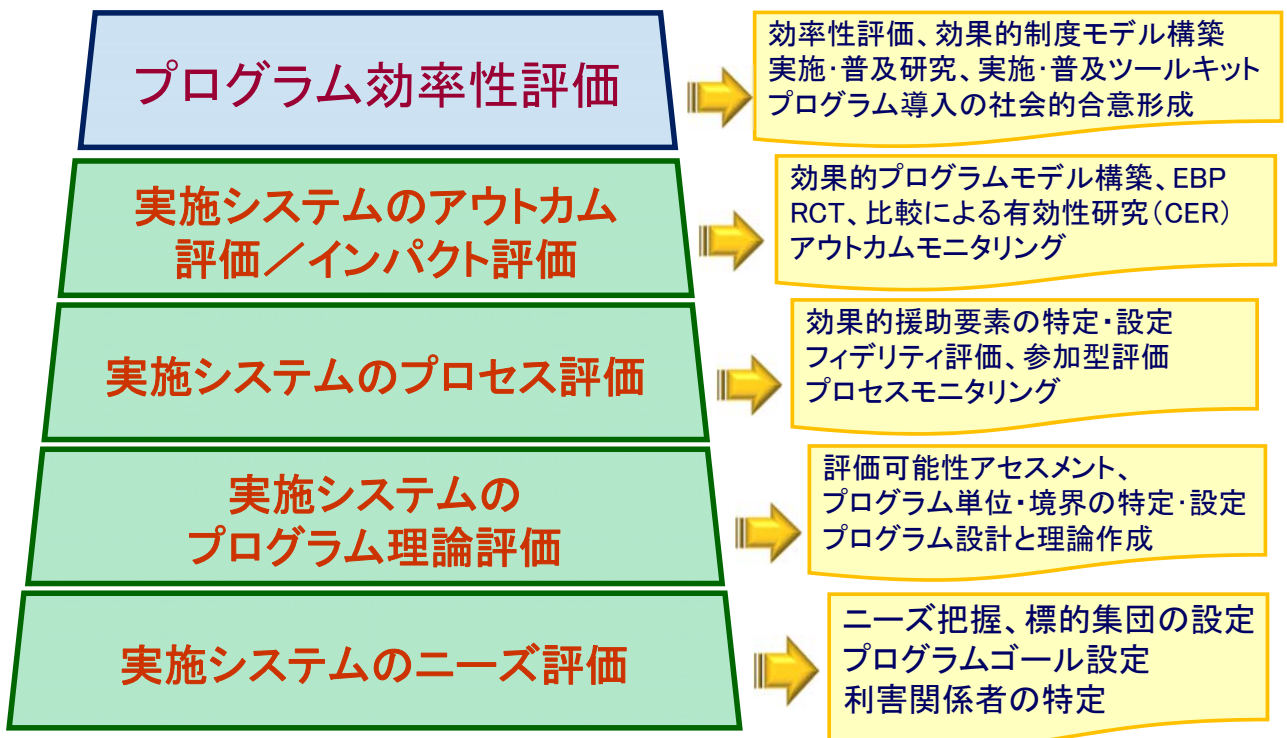


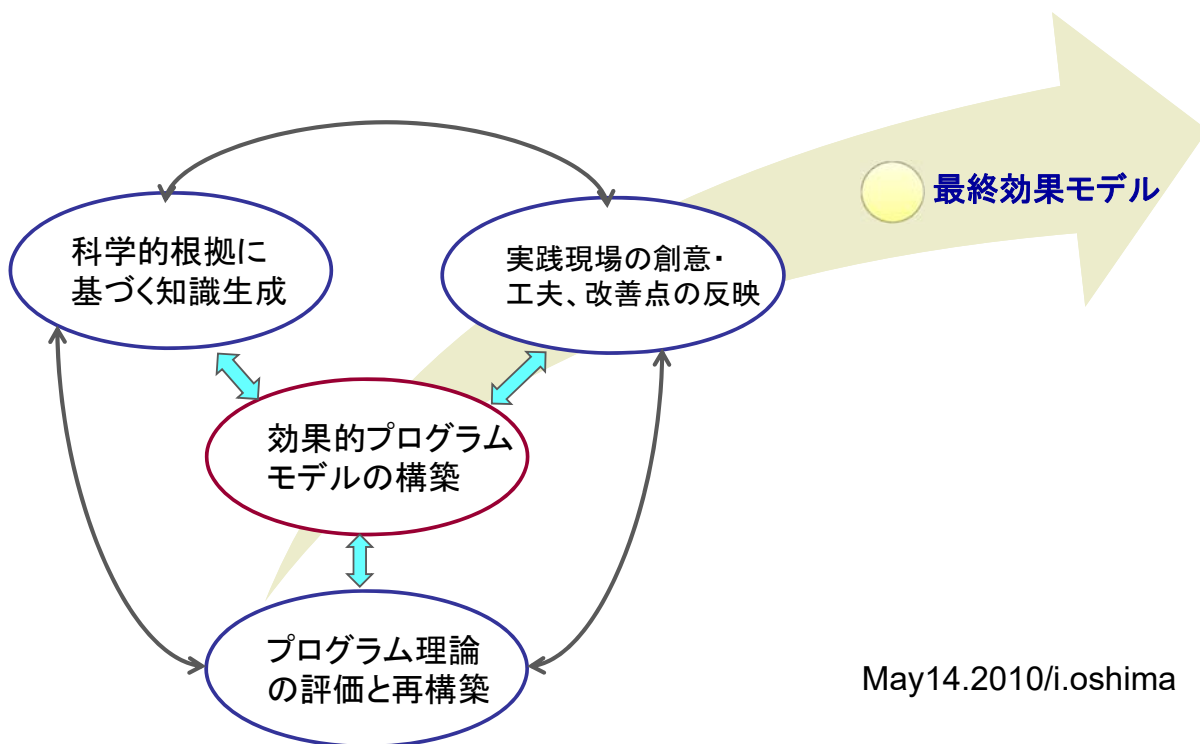
図7-4 効果モデル実施・普及評価と評価階層

# 【見える化】効果モデル5アイテム

「効果モデル」を構成する要素 (Effective Model Component 1-5) を、次の5点に整理

- EMC1) 支援ゴールとインパクト理論: 効果モデルのゴールとその達成過程を示すプログラム理論のインパクト理論
- EMC2) プロセス理論: プログラムゴールを実現するために有効なプログラム設計図に当たるプロセス理論(サービス利用計画, 組織計画)
- EMC3) 効果的援助要素リスト: チェックボックス形式で記述した効果的支援のエッセンスのリスト
- EMC4) 評価ツール: 効果的援助要素によるモデル適合度(フィデリティ評価)、およびプログラムアウトカムを随時測定・モニターする評価のツール
- EMC5) 実施マニュアル: 以上の内容を具体的に記載した効果モデル実施マニュアルと評価マニュアルから構成

(大島ら、2015)<sup>13</sup>



May14.2010/i.oshima

図【ボトムアップ評価】プログラム理論・エビデンス・実践間の円環的対話による効果的プログラムモデル形成のためのアプローチ法(CD-TEP法)



## 【創意工夫のインプット】CheckBox方式による効果的援助要素の記述

### D-3. 就労移行に向けたモチベーションの維持・向上

- 定期的に利用者との打ち合わせを持ち、利用者の目標達成に向けた到達段階の共有化を図っている。また、これらを客観的に共有化するためのツールがあるとさらに良い。
  - 月1回以上、利用者と同様、働くことの意義や目的を明確にしている
  - 月1回以上、利用者と同様、就労移行に向けた話し合いを行うことが申し込まれている
  - 変化に応じて、すぐに就労支援計画の見直しを利用者とともに行うことが申し込まれている
  - 毎日の活動の終了後に、利用者の活動を振り返る時間を確保する
  - 利用者と同様到達段階(現状)を共有化できるツールがある
  - 自己実現のイメージ化できるツールがある  
(例:自分を見つめるためのノート、キャリアプランニングシート、など)
  - 求人情報や就職した利用者などの情報を、事業所内に掲示している
  - 一般就労移行者との交流を図るグループが月1回以上用意されている

### D-4. 早期の就職希望先での実習導入、トライアル雇用・短時間雇用の活用

- 就労支援計画に基づいて、早い時期から希望する就職先での実習を導入する。
  - 利用者が希望すれば、できる限り早い段階で企業での実習を行うという申し合わせがある
  - 利用者が希望すれば、できる限り早い段階で採用を前提とした実習を行うという申し合わせがある
  - 利用者が希望すれば、できる限り早い段階で、トライアル雇用や短時間雇用での就労(週20時間未満など)を行うことが申し込まれている
  - 実習を経過して実習先に就労した利用者が、就労移行者の80%以上いる
  - 実習を経過して実習先に就労した利用者が、就労移行者の60%以上いる
  - 実習を経過して実習先に就労した利用者が、就労移行者の40%以上いる
  - 利用者の希望があれば、週20時間に満たない短時間雇用を導入し、就労移行支援事業による支援を並行させる申し合わせがある

## 【見える化・インプット】効果的援助要素チェックボックスに基づく 実施マニュアルの構築(例)

### D-3. 就労移行に向けたモチベーションの維持・向上

#### ■意義と目的：

就労移行支援プログラム期間中は、就労移行へ向けたモチベーションをできるだけ高めることを目指します。C1を効果的に維持・継続できるような工夫が必要になります。

#### ■具体的な支援内容：

利用者と職員が常に目標を共有できるよう、コミュニケーションを充実させることが重要です。日々の活動を振り返るとともに、現在の状況を共有することも必要になります。そのためのツールを使用することも有効です。これは、C1に準じた方法で問題ありません。

#### ■効果的な援助要素：

- 月1回以上、利用者と同様、働くことの意義や目的を明確にしている
- 月1回以上、利用者と同様、就労移行に向けた話し合いを行うことが申し込まれている
- 変化に応じて、すぐに就労支援計画の見直しを利用者とともに行うことが申し込まれている
- 毎日の活動の終了後に、利用者の活動を振り返る時間を確保する
- 利用者と同様到達段階(現状)を共有化できるツールがある
- 自己実現のイメージ化できるツールがある  
(例:自分を見つめるためのノート、キャリアプランニングシート、など)
- 求人情報や就職した利用者などの情報を、事業所内に掲示している
- 一般就労移行者との交流を図るグループが月1回以上用意されている



# 【見える化・インプット】 暫定効果モデルフィデリティ尺度例（A類型）

## A-5. コーディネーターの配置と機能

### ■ 評価項目：

事業所にコーディネーターが配置されている

#### コーディネーターの機能と役割

- 事業所内の地域生活支援担当各部門が一体的な支援活動が行えるよう調整する
- プログラム利用者が地域移行後に包括的な生活支援を利用できるように、事業所外の地域生活支援機関間の連絡調整会議を開催
- プログラムへのニーズを持つ利用者を拡大するために医療機関へ日常的な広報活動を行う
- 地域移行後に包括的な生活支援ができるよう医療機関を含めた連絡調整会議を開催
- 地域移行後に包括的な生活支援ができるよう行政機関を含めた連絡調整会議を開催
- 自立支援員に対してスーパービジョンを行う
- 自立支援員が作成する退院支援計画に対してスーパービジョンを行う
- ピアサポーターに対して日常的な支援を提供
- プログラムに関わるピアサポート組織を育成、支援する
- プログラムに関わる家族支援組織を育成、支援する
- 地域移行した利用者の地域生活を包括的に支援するため新たな社会資源を開発

1	2	3	4	5
事業所に総合調整を行うためのコーディネーターが配置されていない	事業所に総合調整を行うためのコーディネーターが配置されており、「コーディネーターの機能と役割」で示された項目のうち 0～2 項目を満たす	事業所に総合調整を行うためのコーディネーターが配置されており、「コーディネーターの機能と役割」で示された項目のうち 3～5 項目を満たす	事業所に総合調整を行うためのコーディネーターが配置されており、「コーディネーターの機能と役割」で示された項目のうち 6～8 項目を満たす	事業所に総合調整を行うためのコーディネーターが配置されており、「コーディネーターの機能と役割」で示された項目のうち 9 項目以上を満たす

The screenshot shows the SAMHSA website header with the logo 'SAMHSA Substance Abuse and Mental Health Services Administration'. It includes a search bar for 'Search SAMHSA.gov', social media icons for Facebook, Twitter, YouTube, and Blog, and a navigation menu with items like 'Find Help & Treatment', 'Topics', 'Programs & Campaigns', 'Grants', 'Data', 'About Us', and 'Publications'. Below the navigation is a breadcrumb trail: 'Programs & Campaigns > NREPP > About Us' and a 'SHARE+' button.

## NREPP SAMHSA's National Registry of Evidence-based Programs and Practices

- NREPP Home
- About NREPP**
- NREPP Newsroom
- FAQs
- Find an Intervention
- Reviews & Submissions
- Learning Center
- Contact Us



#### NEWS & ANNOUNCEMENTS

More than 200 new intervention summaries now available  
[Read More](#)

Read about the new, redesigned NREPP  
[Read More](#)

Read about NREPP's new, more rigorous review process  
[Read More](#)

### About NREPP

#### What Is NREPP?

The National Registry of Evidence-based Programs and Practices (NREPP) is an evidence-based repository and review system designed to provide the public with reliable information on mental health and substance use interventions. All interventions in the registry have met NREPP's minimum requirements for review. The programs' effects on individual outcomes have been independently assessed and rated by certified NREPP reviewers.

# NREPP (National Registry of Evidence-Based Programs and Practices)とは

- アメリカ連邦政府SAMHSA(保健省薬物依存精神保健サービス部)が1997年に開設した先駆的モデル、エビデンスに基づく効果モデルプログラムのデータベース
- 国民に対して精神保健と薬物使用に関する効果的な介入プログラムの信頼できる情報提供を可能とする審査システム(review system)を提供。
- 科学的な知見と実践現場での適用のタイムラグを減らし、ニーズにもっとも合致した効果的プログラムの選択を可能とする
- SAMHSAが選択したプログラムのみならず、開発者の自己推薦も可能とする。審査により登録、審査の評点も提示する
- 本日現在577件のさまざまな効果レベル(効果的、効果が有望、効果的でない、効果が明確でない)のプログラムが登録されている
- アメリカ以外でも活用。国際的なデータベースになっている

## NREPPの特徴

### ～効果モデルの形成と実施・普及の観点から～

- プログラム評価の視点を取り入れたデータベース:アウトカム評価の厳格さのみならず、プロセス評価(フィデリティ、プログラム要素)、プログラム理論評価の適切性の視点も導入
- エビデンスレベルが一定以上の様々なレベルのプログラムを、評定点とともに登録する
- 数年後の再審査を可能とする。形成的評価の視点を持ち、継続的なプログラム改善が考慮に入れられている
- 公開申請制(Open submission process)。申請要件を提示
- 実施・普及の準備性(Dissemination readiness)を評価基準に組み入れていた(現在は資料情報の提示のみ。reviewを優先)
- 実施・普及に関連した資料情報(実施マニュアル等)を詳細に掲載する(Resources for Dissemination and Implementation; RFDI)をWeb上に提示する。RFDIチェックリストあり

# NREPPプログラムレビューの基準

- 最終的にアウトカムレベルで評定
- 評定者は、NREPP認定の評価者
- プログラムアウトカムは、次の4次元から審査する
- 研究方法論の厳格さ
  - ✦ ①評価デザイン/対照群の設定、②ITT、③統計的正確さ、④前調査の群間等質性、⑤前調査群間調整、⑥分析方法、⑦内的妥当性への脅威への対応、⑧尺度の信頼性、⑨妥当性、⑩脱落配慮
- エフェクトサイズ
- プログラムフィデリティ
  - ✦ ①サービス利用、②コアプログラム要素の提供
- プログラム概念の枠組み
  - ✦ ①プログラムゴール、②プログラム要素、③変化の理論・インパクト理論

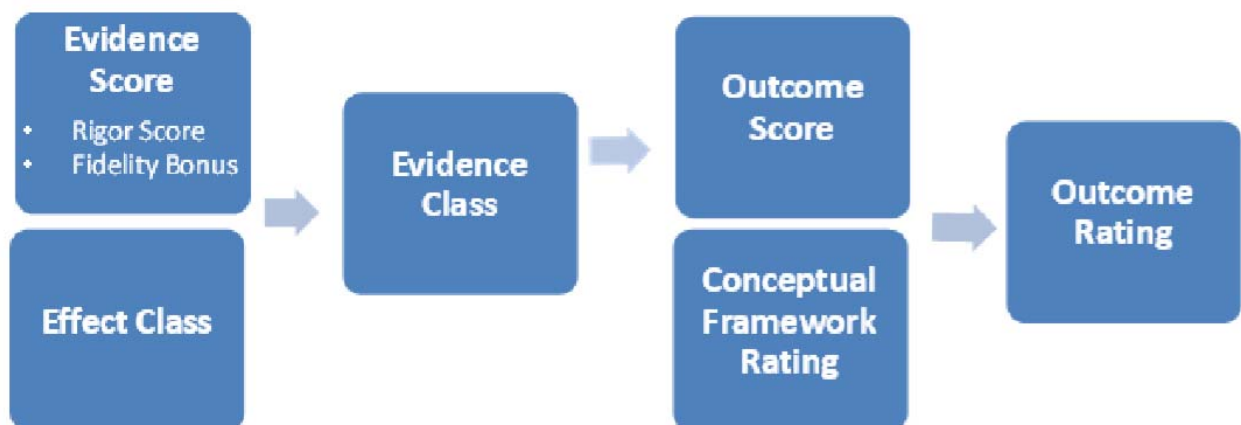






Fig Components of the Final Outcome Rating

## OUTCOME RATING

Outcome Evidence Rating	Icon	Definition
Effective		The evaluation evidence has strong methodological rigor, and the short-term effect on this outcome is favorable. More specifically, the short-term effect favors the intervention group and the size of the effect is substantial.
Promising		The evaluation evidence has sufficient methodological rigor, and the short-term effect on this outcome is likely to be favorable. More specifically, the short-term effect favors the intervention group and the size of the effect is likely to be substantial.
Ineffective		The evaluation evidence has sufficient methodological rigor, but there is little to no short-term effect. More specifically, the short-term effect does not favor the intervention group and the size of the effect is negligible. Occasionally, the evidence indicates that there is a <i>negative</i> short-term effect. In these cases, the short-term effect harms the intervention group and the size of the effect is substantial.
Inconclusive		Programs may be classified as <u>inconclusive</u> for two reasons. First, the evaluation evidence has insufficient methodological rigor to determine the impact of the program. Second, the size of the short-term effect could not be calculated.


### Filter Listing: homeless






[Newly Reviewed Programs \(7\)](#)   [Legacy Programs \(7\)](#)

Results are listed in two groups: Newly reviewed programs and Legacy programs. Legacy programs refer to the 356 programs that were on the NREPP website as of September 2015. The program profiles of each are displayed in different formats.

#### Newly Reviewed Programs

This section lists programs that were reviewed under the new review criteria that took effect after September 2015.

<b>Programs in Search Results (7)</b>	<b>Programs with Effective Outcomes (2)</b> 	<b>Programs with Promising Outcomes (6)</b> 	<b>Programs with Ineffective Outcomes (4)</b> 	<b>Programs with Inconclusive Outcomes (2)</b> 	<a href="#">Return to Search Page</a>
---------------------------------------	---	---	---	--	---------------------------------------

Title	Evidence Rating (by Outcomes)	Program Description
Assertive Community Treatment – Baltimore	 All Outcomes Were Rated Inconclusive	Assertive Community Treatment (ACT) is a multidisciplinary, mobile-outreach treatment team program f...
Assertive Community Treatment–St. Louis	<ul style="list-style-type: none"> <li> Housing and Homelessness</li> <li> Non-Specific Mental Health Disorders and Symptoms</li> <li> Psychotic Disorders and Symptoms</li> <li> Internalizing Problems</li> <li> Self-Concept</li> <li> Employment and Work Readiness</li> <li> Disruptive Behavior Disorders and Symptoms</li> <li> General Substance Use</li> <li> Alcohol Use and Alcohol Use Disorder</li> </ul>	Began in 1972, Assertive Community Treatment (ACT) is a multidisciplinary, mobile outreach treatm...
Behavioral Day Treatment and Contingency-Managed Work and Housing	 Cocaine Use	Behavioral Day Treatment and Contingency-Managed Housing and



## Early Pathways

### Program Description

Early Pathways is a home-based, mental health services program, which is designed to treat and prevent disruptive behaviors in young children. The program comprises the following four components: strengthening the parent-child relationship through child-led play, maintaining developmentally appropriate expectations of children and cognitive methods for calmly and thoughtfully responding to disruptive behaviors, using positive reinforcement to strengthen prosocial behavior, and using time-limited strategies (time-outs, redirection, ignoring) for reducing disruptive behaviors.

The typical program duration is between 8 and 10 sessions, with early sessions focusing on parent-child relationships and later sessions focusing on discipline strategies. The initial session includes program orientation, completion of parent report measures, and establishment of the treatment goal. Play sessions between the parent and the child are observed and rated on quality of interaction. Families are referred to advocacy services if needed.

Session two involves reviewing results of the initial session and developing a treatment plan. Parents are instructed on ways to engage with their children, given recommendations on positive reinforcement, and taught the difference between behavior and temperament. Session three covers developmentally appropriate expectations for children and the concept of a negative behavior cycle and how to interrupt it.

Session four teaches parents how to give requests to their children and includes various methods for effective delivery, follow through, and giving positive reinforcements. Session five examines home routines and ways to prepare children if their routines are disrupted, and session six teaches developmentally appropriate disciplinary strategies. Sessions seven and eight entail a review of progress and refinement of treatment strategies. Additional problem-solving sessions can be added based on professional assessment.

#### ◉ Evaluation Findings by Outcome

#### ◉ Study Evaluation Methodology

#### ◉ References

#### ◉ Resources for Dissemination and Implementation \*

Program Profile Completed On 11/20/2015 7:54:59 PM

### Program Snapshot

#### Evidence Ratings

- ✔ Disruptive Behavior Disorders and Symptoms
- ✔ Social Competence
- ✔ Non-Specific Mental Health Disorders and Symptoms
- ✔ Family Cohesion
- ✔ General Functioning and Well-Being
- ✔ Parenting Practices

#### Program Contact

Robert A. Fox, Ph.D.

Marquette Univ; Dept of Counselor Ed and Counseling Psych; P.O. Box 1881; Milwaukee, WI 53201

## Early Pathways

### Program Description

Early Pathways is a home-based, mental health services program, which is designed to treat and prevent disruptive behaviors in young children. The program comprises the following four components: strengthening the parent-child relationship through child-led play, maintaining developmentally appropriate expectations of children and cognitive methods for calmly and thoughtfully responding to disruptive behaviors, using positive reinforcement to strengthen prosocial behavior, and using time-limited strategies (time-outs, redirection, ignoring) for reducing disruptive behaviors.

The typical program duration is between 8 and 10 sessions, with early sessions focusing on parent-child relationships and later sessions focusing on discipline strategies. The initial session includes program orientation, completion of parent report measures, and establishment of the treatment goal. Play sessions between the parent and the child are observed and rated on quality of interaction. Families are referred to advocacy services if needed.

Session two involves reviewing results of the initial session and developing a treatment plan. Parents are instructed on ways to engage with their children, given recommendations on positive reinforcement, and taught the difference between behavior and temperament. Session three covers developmentally appropriate expectations for children and the concept of a negative behavior cycle and how to interrupt it.

Session four teaches parents how to give requests to their children and includes various methods for effective delivery, follow through, and giving positive reinforcements. Session five examines home routines and ways to prepare children if their routines are disrupted, and session six teaches developmentally appropriate disciplinary strategies. Sessions seven and eight entail a review of progress and refinement of treatment strategies. Additional problem-solving sessions can be added based on professional assessment.

#### ◉ Evaluation Findings by Outcome

#### Outcome: Disruptive Behavior Disorders and Symptoms ✔

##### Program Effects Across all Studies

This program is effective for reducing disruptive behavior disorders and externalizing/antisocial behaviors. The review of the program yielded strong evidence of a favorable effect. Based on three studies and three measures, the average effect size for disruptive behavior disorders and externalizing/antisocial behaviors is .95 (95% CI: .75, 1.05).

[Click here](#) to find out what other programs have found about the average effect sizes for this outcome.

### Program Snapshot

#### Evidence Ratings

- ✔ Disruptive Behavior Disorders and Symptoms
- ✔ Social Competence
- ✔ Non-Specific Mental Health Disorders and Symptoms
- ✔ Family Cohesion
- ✔ General Functioning and Well-Being
- ✔ Parenting Practices

#### Program Contact

Robert A. Fox, Ph.D.

Marquette Univ; Dept of Counselor Ed and Counseling Psych; P.O. Box 1881; Milwaukee, WI 53201

# Pathways' to Housing First Programのレイティング結果(2014年)

For more information about these criteria and the meaning of the ratings, see Quality of Research.

Outcome	Reliability of Measures	Validity of Measures	Fidelity	Missing Data/Attrition	Confounding Variables	Data Analysis	Overall Rating
1: Residential stability	3.5	4.0	3.0	3.8	3.8	4.0	3.7
2: Perceived consumer choice in housing and other services	1.0	1.0	3.0	3.5	2.0	4.0	2.4
3: Cost of supportive housing and services	3.5	4.0	3.0	3.5	3.5	3.5	3.5
4: Use of support services	3.0	3.5	3.0	3.5	3.5	3.5	3.3

For more information about these criteria and the meaning of the ratings, see Readiness for Dissemination.

Implementation Materials	Training and Support Resources	Quality Assurance Procedures	Overall Rating
3.8	4.0	2.8	3.5

## 【参考:2007年の結果】

Implementation Materials	Training and Support Resources	Quality Assurance Procedures	Overall Rating
3.3	3.3	1.5	2.7

**SAMHSA Model Programs Selection Process**

- 1) Theory
- 2) Intervention Fidelity
- 3) Process Evaluation
- 4) Design
- 5) Method of assignment
- 6) Sample size
- 7) Attrition
- 8) Analyses of attrition
- 9) Methods to correct biases
- 10) Outcome Measures – substantive relevance
- 11) Outcome Measures – psychometric properties
- 12) Missing Data
- 13) Treatment of missing data
- 14) Outcome data collection
- 15) Analysis
- 16) Other threats to validity
- 17) Integrity
- 18) Utility

**Score:**

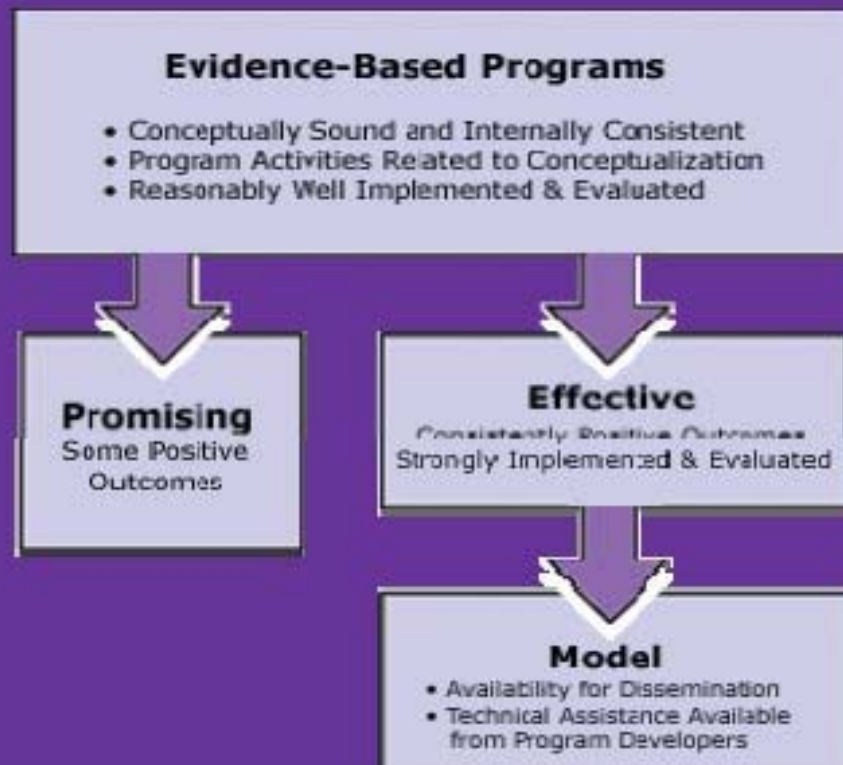
1	2	3	4	5
		Promising	Effective or Model	Effective or Model

5





## What is a Model Program?



## NREPPの実践からの示唆

- 実践プログラム効果モデルの形成的評価、実施・普及を促進する枠組みを持つ世界でも限られたEBPのデータベース
- 数年おきに見直しがされ、より良いシステムが追求される
- 効果モデルの形成的評価のために、プロセス評価（フィデリティ評価、プログラム要素）、プログラム理論評価を行っている。しかし、その評定結果の活用はされていない
- 形成的評価のために、数年後の再審査を可能とする。しかし、現状では体系的に行われていない
- 形成的評価に必要なプロセス評価・プログラム理論評価の情報が公開されていない。また利用した関係者等からのフィードバックも位置づけられてない
- 国や社会の責任で効果モデルを形成し、実施・普及を支援する社会的なツールとして多くの示唆を与える取り組み